# 図・表・写真一覧

## ■第1編 生命科学系

□第1章	医学部	
図 1	部局化の概要	
図2-1	L 本荘団地(北地区)配置図	26
図2-2	2 本荘団地 (中地区) 配置図	26
図2-3	3 本荘団地(南地区)配置図	27
図 3	西病棟、東病棟配置図	28
図 4	新外来棟配置図	29
図 5	基礎研究棟配置図	33
図 6	医学教育図書棟と医学総合研究棟	34
図 7	山崎記念館平面図	36
表1	医学部年表	5
表 2	歴代医学部長及び医学科長一覧	6
表3	発足当時の熊本大学医学部及び体質医学研究所の講座名	13
表 4	医学部附属中毒研究施設年表	15
表5	医学部附属免疫医学研究施設年表	15
表6	山崎記念館に関する年表	37
写真1	旧第6病棟(左)と東西病棟	27
写真 2	基礎医学研究棟	28
写真3	医学教育図書棟(左)と医学総合研究棟(右)	28
写真4	臨床研究棟	28
写真5	医学部遠景 (白川側)	29
写真6	旧基礎研究棟遠景	30
写真7	取り壊される旧基礎研究棟	30
写真8	北里柴三郎博士胸像	
写真9	山崎記念館	36
写真10	山崎正董博士寿像	36
写真11	新築された西病棟(右)と東病棟(中央)、左は旧第6病棟	39
写真12	新中央診療棟(西側)	······ 40
□第2章	医学教育部	
表1	医学教育部年表	46
表 2	歷代医学教育部長一覧	
表3	大学院医学教育部博士課程指導分野一覧	56

表 4	留学生数の推移	57
写真 1	医学研究科の表札	
写真 2	医学研究科修士課程のパンフレット	
写真3	医学教育部の表札	
写真4	医学教育部のパンフレット	54
□第3章	医学部附属病院	
図1	附属病院見取り図(2011年)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
図 2	医療技術部の概念図、目標、組織図	
表1	施設及び診療科・部門などの変遷	
表 2	歷代附属病院長一覧	
表3	ME機器センターの実働状況 (2009年度)	
表 4	医学部附属病院歴代総看護婦長·看護部長 ·······	
写真 1	医学部附属病院の正門(2010年)	
写真 2	本莊北地区(附属病院敷地)航空写真(2007年)	
写真3	中央手術部における手術風景	
写真 4	ICUのベッド外観 ·······	
写真 5	中央放射線部の装置	75
写真 6	総合臨床研修センター臨床研修指導医ワークショップ(2005年頃)	
写真7	中央検査部スタッフ(2010年)	
写真8	リハビリテーション部スタッフ(2009年) <b></b>	
写真 9	病理診断の風景	
写真10	現在の輸血・細胞治療部	81
写真11	光学医療診療部風景	
写真12	治験支援センタースタッフ(2009年)	84
写真13	周産母子センター病室	86
写真14	操作中の人工心肺装置	87
写真15	医療の質管理センタースタッフ(2009年)	89
写真16	機能神経外科先端医療寄附講座における処置光景	94
□第4章	保健学教育部	
図 1	熊本の医学の発展とともに歩んだ看護教育	11
図 2	医学部附属病院建物配置図 1	25
表1	医学部附属看護学校・助産婦学校年表	
表 2	医学部附属診療放射線技師学校年表	
表3	医学部附属臨床検查技師学校年表	
表 4	医療技術短期大学部年表	
表5	教育学部特別教科(看護)教員養成課程年表	
表6	医学部保健学科年表	
表7	保健学教育部保健学専攻年表	00

表8	歷代保健学系部局長一覧	100
表 9	医療技術短期大学部一般教養教員一覧(発足期)	103
表10	医療技術短期大学部一般教養教員一覧 (1981年以降)	105
表11	医学部保健学科改組後の基礎教養教員の所属一覧	106
表12	医学部附属看護学校教員一覧	108
表13	医療技術短期大学部看護学科教員一覧	110
表14	医学部附属助産婦学校歴代専任教官一覧	112
表15	医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻教員一覧	113
表16	教育学部特別教科 (看護) 教員養成課程の教員と事務職員一覧	116
表17	医学部保健学科看護学専攻教員一覧	118
表18	医学部附属放射線技師学校教員一覧	120
表19	医療技術短期大学部放射線技術学科教員一覧	122
表20	医学部保健学科放射線技術科学専攻教員一覧	124
表21	医学部附属衛生検查技師学校·臨床検查技師学校教員一覧	126
表22	医学部附属衛生検查技師学校·臨床検查技師学校事務職員一覧	126
表23	医療技術短期大学部衛生技術学科教員一覧	128
表24	医療技術短期大学部検査技術科学専攻教員一覧	131
表25	看護婦 (師) 国家試験受験概況 (1979~2009年度)	133
表26	助産婦 (師) 国家試験受験概況 (1980~2009年度)	134
表27	保健師国家試験受験概況 (2007~2009年度)	134
表28	診療放射線技師国家試験受験概況 (1980~2009年度)	135
表29	臨床検査技師国家試験受験概況 (1979~2009年度)	136
表30	保健学教育部修士 (博士前期) 課程のカリキュラム	138
表31	保健学教育部博士後期課程のカリキュラム	139
表32	保健学科系における記念事業一覧	140
写真 1	初代主事·大久保武男教授	103
写真 2	第25回国立大学医療技術短期大学部総合教育協議会総会	106
写真3	熊本大学医学部附属看護学校閉校祝賀会	108
写真 4	第13回生戴帽式記念写真(1990年)	109
写真 5	高等学校衛生看護学科での教育実習	115
写真 6	1972年度放射線技師学校卒業式 (15名)	119
写真 7	医療技術短期大学部診療放射線技術学科の九重研修 (1996年)	121
写真8	医療技術短期大学部診療放射線技術学科の授業 (2001年)	121
写真 9	医療技術短期大学部診療放射線技術学科学生の病院での実験 (2004年)	121
写真10	医学部保健学科放射線技術科学専攻第1回生入学式(2004年4月)	124
写真11	医学部附属衛生検査技師学校校舎	126
写真12	医学部附属衛生・臨床検査技師学校閉校記念パーティー(1979年3月17日)	127
写真13	医療技術短期大学部衛生技術学科の卒業研究発表会	129
写真14	医療技術短期大学部衛生技術学科の一日研修	130
写真15	医学部保健学科検査技術科学専攻の学内実習 (薄切切片標本作成)	132

写真16	医療技術短期大学部閉学記念碑 140	J
写真17	医療技術短期大学部閉学記念式 (2007年)	0
写真18	教育学部特別教科 (看護) 教員養成課程閉課程記念式典 (2007年) 146	0
写真19	医学部保健学科同窓会会報(創刊号)143	3
写真20	医学部保健学科同窓会会員名簿14:	3
□第5章	薬学部	
図 1	2006年当時の薬学部組織と大学院との関係 160	6
図 2	薬学部、附属施設及び協力部局・施設の連携による教育体制 17	1
表1	薬学部年表	6
表 2	熊本大学開学時の学部と前組織15	1
表3	薬学部開設時の学科と講座152	2
表 4	1973年当時の学科と講座157	3
表5	1985年当時の大講座名と研究室158	5
表 6	1985年当時の教育科目	5
表7	1985年当時の薬学部教員一覧156	6
表8	熊薬百周年記念事業会組織157	7
表 9	熊薬百周年記念事業後援会組織157	7
表10	熊薬百周年記念事業	8
表11	1997年当時の授業科目	3
表12	2006年当時の学科と教育目的165	5
表13	2006年当時の卒業要件	7
表14	2006年当時の履修モデル 162	7
表15	病院・薬局実習施設の所在地及び施設数及び受入学生数 (2010年) 168	8
表16	前身校歴代校長及び薬学部長一覧182	2
表17	附属図書館薬学部分館長一覧183	3
表18	歷代薬学部事務職員役職員一覧	4
表19	薬学系事務組織年表	5
表20	歷代熊薬同窓会会長一覧	5
表21	薬学展開催日及び熊薬自治会長 (薬学展実行委員長) 一覧 186	6
写真 1	熊本県薬業組合記功碑	9
写真 2	学生証明書 (1949年)	1
写真3	日本薬学会 第101年会	6
写真4	熊薬百周年記念講演会158	8
写真 5	百周年記念ホールと熊薬五十周年記念館158	9
写真 6	医薬品の効果判定セミナー(1991年)	0
写真7	台風19号被害(1991年)	
写真8	大改修後の薬学部172	2
写真 9	大江地区RI施設174	4
写真10	機器分析センター、大江総合研究棟、図書館・創薬研究センター 174	4

写真11	大江地区体育館	176
写真12	蕃滋館	176
写真13	大江総合研究棟	177
写真14	宫本記念館	178
□第6章	薬学教育部	
図 1	1998年当時の大学院組織図	195
図 2	部局化による組織改編 (2003年)	199
図3	新薬学教育制度に対応した大学院教育制度	206
表1	薬学教育部年表	188
表 2	1964年当時の専攻と講座	189
表3	1973年当時の専攻と講座	189
表 4	1985年当時の薬学研究科組織	192
表5	1985年当時の薬学研究科における授業科目、単位数、担当教官	194
表 6	1985年当時の薬学研究科における授業科目と修了要件	195
表7	臨床薬学専攻の出願資格	196
表8	1998年当時の臨床薬学専攻の授業科目一覧	196
表 9	2001年当時の分子機能薬学専攻における授業科目	197
表10	2003年当時の薬学教育部の専攻、講座、分野	200
表11	2003年当時の博士前期課程・後期課程の履修方法(2006年以降の非教育コース)	201
表12	2006年当時の博士前期課程・後期課程の授業科目 (DDS教育コース) ······	203
表13	2010年の創薬・生命薬科学専攻博士前期課程の授業科目	205
表14	歴代薬学研究科長・薬学教育部長一覧	213
写真 1	1965年頃の大学院薬学研究科修士課程設置後の正門	190
写真 2	薬用植物園	209
写真3	市民に親しまれている薬用植物観察会	209
写真 4	薬用植物学分野	210
写真5	臨床薬物動態学分野の教室員(2011年3月)	211
□第7章	生命科学研究部	
図 1	大学院生命科学研究部の基本目標と基本方針	219
図 2	感染症阻止学分野の研究内容	249
表1	歴代生命科学研究部長・事務(部)長一覧	216
表 2	大学院生命科学研究部の部門・講座・分野編成	217
表3	脳回路構造学年表	251
写真 1	風柳会(分子病理学分野同門会、2011年6月18日)	222
写真2	細胞病理学分野の教室員(2009年4月)	223
写真3	病態生化学分野の教室員	224
写真 4	呼吸器病態学分野の教室員	225
写真5	循環器病態学分野の教室員	226

写真 6	消化器内科学分野の教室員	· 227
写真7	腎臓内科同門会発足式(2005年 6 月18日)	228
写真8	泌尿器科学教室開講50周年記念祝賀会	· 228
写真9	代謝内科学同門会懇親会(2011年 9 月)	· 229
写真10	産科婦人科学教室創設110周年を記念して作られた図書カード	230
写真11	耳鼻咽喉科学教室開講100周年記念祝賀会(2011年1月9日)	232
写真12	運動骨格病態学分野の教室員(2010年5月)	• 232
写真13	皮膚病態治療再建学分野の教室員(2010年1月)	· 233
写真14	歯科口腔外科創立50周年記念式典(2009年11月)	234
写真15	放射線治療医学分野の教室員	· 236
写真16	中央検査部・病態情報解析学分野集合写真(2010年4月)	238
写真17	薬物動態制御学分野の教室員(2010年6月)	• 241
写真18	製剤設計学分野同門会(2007年7月)	• 242
写真19	構造機能物理化学分野の教室員	• 243
写真20	微生物学分野の教室員(2011年4月)	• 246
写真21	免疫識別学分野の教室員(2010年7月 第14回日本がん免疫学会総会主催時) ・・・・・	• 247
写真22	脳神経外科学教室開講40周年記念会(2009年6月)	• 252
写真23	神経内科学分野の教室員	
写真24	腫瘍医学分野の教室員(2010年)	
写真25	小児発達学開講10周年記念事業の集合写真	
写真26	消化器外科学分野の教室員	
写真27	遺伝子機能応用学分野の教室員(2010年5月)	260
写真28	生体機能分子合成学分野の教室員(2010年9月)	262
写真29	機能分子構造解析学分野の教室員(2009年6月)	262
写真30	公衆衛生・医療科学分野同門の集まり(2011年12月)	265
写真31	脳機能病態学分野(神経精神科)の同門会(2007年2月)	267
写真32	生命分析化学分野の教室員(2010年6月)	· 268
□筆8章	生命資源研究・支援センター	
図1	データベースEGTCのロゴマーク	· 279
表1	生命資源研究・支援センター年表	
表 2	生命資源研究・支援センター関連部局歴代役職者一覧	
表3	機器分析施設に設置されている現有機器一覧	
写真 1	生命資源研究・支援センター建物全容	
写真 2	マウス胚・精子を保存するための大型液体窒素保管器	
写真3	生殖工学技術マニュアルマウス版CD	
写真4	生殖工学技術講習会	
写真5	アイソトープ総合施設(旧アイソトープ総合センター)	
写真 6	本荘地区アイソトープ施設(旧本荘地区放射性同位元素総合研究室)	
写真7	黒髪地区アイソトープ施設(旧黒髪地区放射性同位元素総合研究室)	

写真8	大江地区アイソトープ施設 (旧薬学部放射性同位元素総合研究室)	297
写真 9	機器分析センター	299
写真10	機器分析施設の設備	299
□第9章	エイズ学研究センター	
表1	ウイルス制御分野在籍者一覧 ····································	307
表2	病態制御分野在籍者一覧	
表3	予防開発分野在籍者一覧 ····································	
表 4	流行阻止分野客員教授・准教授一覧	
表 5	流行阻止分野外国人客員教授・准教授一覧	
写真1	予防開発分野の教室員(2009年)	
□第10章	発生医学研究所	
図1	体質医学研究所の変遷	324
図2	中毒研究施設と免疫医学研究施設の変遷	
図3	遺伝発生医学研究施設の成り立ち	
図 4	文部科学大臣認定 「発生医学の共同研究拠点」 事業の概念図・	
表 1	歷代体質医学研究所長一覧	
表 2	体質医学研究所年表 ····································	
表3	歷代医学部附属中毒研究施設長一覧	328
表 4	医学部附属中毒研究施設年表	328
表 5	歷代医学部附属免疫医学研究施設長一覧	329
表 6	医学部附属免疫医学研究施設年表	329
表7	歷代医学部附属遺伝医学研究施設長一覧	330
表8	医学部附属遺伝医学研究施設年表	330
表 9	歷代医学部附属発生医学研究施設長一覧	331
表10	医学部附属発生医学研究施設年表	331
表11	歴代発生医学研究センター長一覧	332
表12	発生医学研究センター年表	332
表13	歷代発生医学研究所長一覧	334
表14	発生医学研究所年表 ····································	334
表15	多能性幹細胞分野在籍者一覧	340
表16	腎臓発生分野教員一覧	345
表17	客員分野教員一覧	347
写真 1	体質医学研究所(1969年)	334
写真2	体質医学研究所(1979年)	334
写真3	本荘地区(1963年)	335
写真4	医学部C棟(1966年)	335
写真 5	発生医学研究センター棟 (2005年)	335

## ■第2編 自然科学系

□第1章	理学部	
図 1	1977年当時の理学部建物配置図	• 367
図 2	2008年以降現在の理学部建物配置図	• 368
図3	2004年の改組の概要	<b>-</b> 406
図 4	理学科の教育課程	• 407
表1	学科、学科目、講座の変遷	· 359
表 2	歷代理学部長一覧	• 360
表3	教官定員の推移 (1949~1979年度)	• 361
表 4	講座別教官・教員現員の推移 (1980~2009年度)	· 362
表5	2010 (平成22) 年度講座別教員現員	• 363
表 6	学科別学生総定員・在籍学生数(5学科制・6学科制、1949~2009年度)	<b></b> 364
表7	教育プログラム別在籍学生数・学生総定員(1 学科制、2004~2009年度)・・・・	· 366
表8	専攻別学生総定員・修了者数 (1966~1999年度)	· 370
表 9	附属臨海実験所年表	<b>-</b> 372
表10	附属臨海実験所所長一覧	<b>··</b> 372
表11	極低温装置室年表	• 373
表12	極低温装置室長一覧	<b>-</b> 373
表13	数学科の組織変遷	• 374
表14	物理科学科購読外国雑誌一覧 (1999年当時)	<b>.</b> 382
表15	物理科学科の授業科目一覧 (2004年)	• 383
表16	化学プログラムにおける主な計測機器 (2009年)	· 388
表17	環境理学科のスタッフの構成と変遷	• 404
写真 1	レーザー冷却されたNa原子 (2002年)	• 381
写真 2	X線回折装置 (2010年)	<b>.</b> 384
写真3	地学科の学生控室 (1970年頃)	
写真4	地学教室の学生控室 (2009年)	396
写真5	誕生時の生物教室 (1949年頃)	
写真 6	教師弟の和熟が生物教室のモットー(1986年)	
写真7	生物教室同窓会 (同生会) の会報第1号	<b>-</b> 399
写真8	同生会50周年記念誌	<b>-</b> 399
写真 9		
写真10	環境理学科初代1年生 (阿蘇青年の家にて、1997年)	• 405
□第2章	工学部	
図 1	機械系学科の講座・分野の変遷	
図 2	材料開発工学科以降の学科変遷	
表1	歷代工学部長一覧	• 412

表 2	工学部年表
表3	化学系学科年表
表 4	物質生命化学科の大講座と教育研究分野名 424
表5	熱工学・流体工学の教員変遷 (1949~2010年)
表6	加工学・材料学の教員変遷 (1949~2010年)
表7	計測工学・制御工学の教員変遷 (1949~2010年) 436
表8	材料力学・設計工学分野の教員変遷 (1949~2010年) 439
表 9	機械工学科のカリキュラム(1949年5月) 441
表10	機械工学科のカリキュラム(1960年4月~1964年3月)
表11	生産機械工学科のカリキュラム(1961年4月~1964年3月)
表12	機械工学科のカリキュラム(1987年4月~1994年3月)
表13	機械システム工学科のカリキュラム(2010年)
表14	土木環境系学科年表
表15	土木環境系の専門科目の変遷455
表16	土木環境系の2006年度のカリキュラム
表17	建築学科年表
表18	情報電気系学科年表
表19	電気工学科第1期学生に対する修正カリキュラム(1952年度) 483
表20	情報電気電子工学科のカリキュラム(2006年度) 48/4
表21	資源系学科及び講座年表
表22	資源系学科の教官の変遷 490
表23	資源系学科の技官の変遷 490
表24	材料開発工学科 (資源コース) の卒業者数 (1991~2002年度) 491
表25	材料開発工学専攻 (資源コース) の修了者数 (1993~1999年度) 491
表26	1999年以降の兼重賞受賞者一覧
表27	材料系学科における講座及び分野の変遷 493
表28	材料系学科における教官及び教員の変遷 (1949~2010) 494
表29	採鉱冶金学科冶金課程のカリキュラム(1954年)495
表30	金属工学科のカリキュラム(1965年)
表31	金属工学科のカリキュラム(1985年)
表32	材料開発工学科材料コースのカリキュラム(1987年) 497
表33	材料開発工学科材料コースのカリキュラム(1994年) 498
表34	知能生産システム工学科材料プロセスコースのカリキュラム(1996年) 499
表35	知能生産システム工学科マテリアル系のカリキュラム(2003年)
表36	マテリアル工学科のカリキュラム (2006年) 501
表37	材料系の卒業者数 (1999~2010年) 504
表38	修士課程の修了者数 (1999~2010年) 504
表39	工学研究機器センターにおける現有設置機器 506
表40	工学部技術職員の配置 510
写真 1	工学部 4 号館を背景に記念写真 (1996年)

写真 2	旧工学研究機器センター	• 505
写真3	現工学研究機器センター	• 507
□第3章	自然科学研究科	
表 1	自然科学研究科年表 •••••••	• 516
表2	歷代自然科学研究科長一覧	• 517
表3	大学院重点化後の専攻・講座一覧 (2006年)	• 520
表 4	専攻・講座・入学定員の変遷	
表5	学生定員及び在籍学生数	• 524
表6	学位授与状况 •••••••	
表7	自然科学系部局の科学研究費補助金採択状況 (1999~2010年)	• 526
表8	自然科学研究科附属総合科学技術共同教育センターの概要	• 528
□第4章	沿岸域環境科学教育研究センター	
図 1	沿岸域環境科学教育研究センターの将来構想に基づく改組概念図	• 565
表1	沿岸域環境科学教育研究センター年表	• 551
表2	沿岸域環境科学教育研究センターの講演会一覧	• 553
表3	沿岸域社会計画分野の研究テーマ一覧	• 563
写真 1	有明海・八代海に広がる広大な干潟	• 550
写真 2	合津マリンステーション	• 550
写真3	高校生対象の実習風景	• 551
写真 4	「有明海・八代海を科学する」実習風景	• 552
写真 5	沿岸域環境科学教育研究センター年報	• 553
写真 6	むつごろう通信 (創刊号)	• 554
写真7	ハクセンシオマネキの求愛行動	• 555
写真8	ヨモギホンヤドカリの夜間調査	• 555
写真 9	干潟表面のスナガニ類の巣穴と干潟のメイオファウナ	• 556
写真10	塩性湿地の再生事業	• 557
写真11	モニタリングサイト1000調査風景	• 557
□第5章	衝撃・極限環境研究センター	
図 1	爆発衝撃実験棟の図	• 579
表1	衝撃・極限環境研究センターの教員構成 (2000年4月当時)	• 576
表 2	衝撃・極限環境研究センターの教員構成 (2010年3月時点)	• 576
表3	衝撃・極限環境センターの国際交流協定相手先	• 577
表 4	寒剤ユーザーによる近年の研究業績	• 584
表5	先端極限科学分野 (客員分野) の教授及び研究タイトル一覧	• 584
写真1	衝撃エネルギー実験所 (1990年頃)	• 569
写真 2	1984年当時の「極低温装置室」	
写真3	1984年に導入されたヘリウム液化機	• 571

写真4	1996年に導入された窒素液化機 (LINDE model LINIT25)	571
写真5	産学連携功労者表彰 文部科学大臣賞の表彰状 (2003年)	575
写真 6	衝撃・極限環境研究センターの外観	576
写真7	爆発衝撃実験棟外観	580
写真8	衝撃銃実験室	581
写真 9	第2世代の高温超遠心機	581
写真10	「全国へリウム液化システム概要集」	583
□第6章	バイオエレクトリクス研究センター	
写真 1	バイオエレクトリクス研究センター(共用棟黒髪3号館)	588
写真2	秋山教授が受賞した第2回Frank Reidyバイオエレクトリクス賞の楯	590
■第3	編 人文・社会科学系	
□第1章	法文学部	
表1	教養部設置に伴う文科教員の定員改組 (1964年2月5日教授会決定)	602
表 2	法文学部分離案の変遷	
表3	歷代法文学部長一覧	606
□第2章	文学部、文学研究科	
図 1	学科・入学定員・講座の新旧組織対応図 (1997年)	616
図 2	文学部改組の概念図(2005年改組)	622
図 3	コミュニケーション情報学科の設置目的と教育課程	
図 4	学科・講座・分野 (履修モデル) の新旧組織対照図 (2005年)	623
図 5	コミュニケーション情報学分野の教育プログラム[案](『平成15年度文学部改組計画書』) ・・・・・・	656
図 6	コミュニケーション情報学科における卒業生の進路状況(~2010年3月)	
表1	独語独文学の歴代教員一覧	651
表 2	コミュニケーション情報学科教員の専門領域と担当科目 (2010年3月現在)	
表3	歷代文学部長等一覧	
写真 1	永青文庫研究センターにおける調査風景	
写真 2	認知心理学の実験風景	
写真3	西洋史研究室同窓会(2009年度)	
写真4	中国語中国文学の合宿研修でのひとこま(2010年)	
写真5	学生が作成したホームページ (トップページ)	657
□第3章	法学部、法学研究科	
図 1	2004 (平成16) 年度カリキュラム 授業科目構成	
図 2	2008 (平成20) 年度カリキュラム 授業科目構成	
表1	法文学部法学科組織及び法学部組織案、法学部完成組織	669

表 2	授業科目表 (法学部発足時 1979年4月)	671
表3	法学部発足時のコース別必修・選択科目表	683
表 4	法学部発足時のコース別科目表、卒業要件単位数	684
表5	1997 (平成9) 年度カリキュラム 学科別卒業要件単位数	687
表6	1997 (平成9) 年度カリキュラム 科目表 (学部共通)	688
表7	1997 (平成9) 年度カリキュラム 科目表 (法学科)	689
表8	1997 (平成9) 年度カリキュラム 科目表 (公共政策学科)	690
表 9	2004 (平成16) 年度カリキュラム 授業科目群及び教育目的	692
表10	2004 (平成16) 年度カリキュラム 必修・選択必修科目	694
表11	2004 (平成16) 年度カリキュラム 卒業要件単位	695
表12	2004 (平成16) 年度カリキュラム 専門基礎科目・専門科目	696
表13	2008 (平成20) 年度カリキュラム 授業科目及び教育目的	700
表14	2008 (平成20) 年度カリキュラム 卒業要件単位	702
表15	2008 (平成20) 年度カリキュラム 専門基礎科目・専門科目	703
表16	『熊本法学』発行状況	
表17	『熊本大学法学部人文社会論集』発行実績	711
表18	『熊本大学法学会叢書』(いずれも発行は成文堂)	711
表19	『熊本大学地域連携フォーラム叢書』(いずれも発行は成文堂)	
表20	法学部主催のシンポジウム等一覧	
表21	法学部年表	
表22	歷代法学部長一覧	
表23	歷代法学部教員一覧	
表24	法学部助手一覧	
写真 1	ゼミ風景	
写真 2	法学部図書室	
写真3	文・法学部棟外観	
写真 4	A - 2 大講義室 ······	
写真 5	学生自習室	
写真6	リフレッシュルーム	715
□第4章	社会文化科学研究科	
図 1	教授システム学専攻概念図 (博士前期・後期課程)	
表1	専攻・コース・年度・学位の種類ごとの学位取得者数(修士課程、博士前期課程)	
表2	専攻・講座・年度・学位の種類ごとの学位取得者数 (課程博士)	
表3	論文提出による学位取得者数 (2003~2009年度)	
写真 1	プロジェクト研究 五木村調査 (2009年)	
写真2	古文書調査実習 (2009年)	733
□第5章	法曹養成研究科	
図 1	2007年度以降の進級の条件	759

図 2	授業参観感想メモ	760
図3	入学者選抜のプロセス	763
表1	法曹養成研究科における教育課程 (発足時)	751
表 2	履修上限単位数 (発足時)	752
表3	専任教員の担当科目	755
表 4	法曹養成研究科における教育課程(2007年度カリキュラム改革以降)	757
表5	履修上限単位数 (2007年度以降)	758
表6	2011年前期授業参観表	760
表7	年度別司法試験出願者・受験者・合格者数	761
表8	各年度別修了者の進路状況	761
表 9	入学志願者数の推移	762
表10	入学者における社会人・非法学部出身者の数及び占める割合	762
表11	日本学生支援機構奨学金採用状況	764
表12	入学金・授業料減免制度の実績	
表13	専任教員の配置	768
表14	熊本ロージャーナル 掲載論文等一覧	
表15	研究成果発表件数	
表16	法曹養成研究科における国際交流活動	
表17	法曹養成研究科自己点検・評価規則資料	774
表18	2007年度認証評価の結果	774
□第6章	教育学部、教育学研究科	
□ <b>第6章</b> 図1	教育学研究科修了者進路	
図 1 図 2	教育学研究科修了者進路 ····································	819
図 1 図 2 図 3	教育学研究科修了者進路 ····································	819 830
図 1 図 2 図 3 図 4	教育学研究科修了者進路	819 830 840
図 1 図 2 図 3 図 4 図 5	教育学研究科修了者進路 ····································	819 830 840 840
図 1 図 2 図 3 図 4 図 5 図 6	教育学研究科修了者進路 ····································	819 830 840 840 840
図 1 図 2 図 3 図 4 図 5 図 6	教育学研究科修了者進路 ····································	819 830 840 840 842
図 1 図 2 図 3 図 4 図 5 図 6 図 7	教育学研究科修了者進路 ····································	819 830 840 840 840 842 843
図 1 図 2 図 3 図 4 図 5 図 6 図 7 図 8	教育学研究科修了者進路 ····································	819 830 840 840 842 843 848
図 1 図 2 図 3 図 4 図 5 図 6 図 7 図 8 図 9	教育学研究科修了者進路	819 830 840 840 842 843 848 851
図 1 図 2 図 3 図 4 図 5 図 6 図 7 図 8 図 9 図 10	教育学研究科修了者進路 ····································	819 830 840 840 842 843 848 851 853
図 1 図 2 図 3 図 4 図 5 図 6 図 7 図 8 図 9 図 10 図 11	教育学研究科修了者進路 学校種別教員採用者割合 2010年の附属幼稚園の施設概況 1943年の附属幼稚園見取図 1954年の附属幼稚園見取図 1970年の附属幼稚園見取図 附属小学校が目指す子ども像(教育目標) 附属小学校見取図 附属小学校のPTA組織図 (2010年度) 附属中学校校歌 附属中学校校歌 附属中学校校務分掌 (2010年度)	819 830 840 840 842 843 848 851 853
図 1 図 2 図 3 図 4 図 5 図 6 図 7 図 8 図 9 図 10 図 11 図 12	教育学研究科修了者進路 … 学校種別教員採用者割合 … 2010年の附属幼稚園の施設概況 … 1943年の附属幼稚園見取図 … 1954年の附属幼稚園見取図 … 1970年の附属幼稚園見取図 … 所属小学校が目指す子ども像(教育目標) … 附属小学校見取図 …	819 830 840 840 842 843 848 851 853 854 862
図1 図2 図3 図4 図5 図6 図7 図8 図9 図10 図11 図12 図13 表1	教育学研究科修了者進路学校種別教員採用者割合2010年の附属幼稚園の施設概況1943年の附属幼稚園見取図1954年の附属幼稚園見取図1970年の附属幼稚園見取図所属小学校が目指す子ども像(教育目標)所属小学校見取図所属小学校のPTA組織図(2010年度)所属中学校校歌所属中学校校歌所属中学校校務分掌(2010年度)所属中学校校務分掌(2010年度)1969年度国立学校施設設備概算要求「概算要求事項別説明書」歴代教育学部長	819 830 840 840 842 843 851 853 854 862 783
図1 図2 図3 図4 図5 図6 図7 図8 図9 図10 図11 図12 図13 表1	教育学研究科修了者進路 … 学校種別教員採用者割合 … 2010年の附属幼稚園の施設概況 … 1943年の附属幼稚園見取図 … 1954年の附属幼稚園見取図 … 1970年の附属幼稚園見取図 … 附属小学校が目指す子ども像(教育目標) … 附属小学校見取図 …	819 830 840 840 842 843 851 853 854 862 783
図1 図2 図3 図4 図5 図6 図7 図8 図9 図10 図11 図12 図13 表1 表2	教育学研究科修了者進路 学校種別教員採用者割合 2010年の附属幼稚園の施設概況 1943年の附属幼稚園見取図 1954年の附属幼稚園見取図 1970年の附属幼稚園見取図 附属小学校が目指す子ども像(教育目標) 附属小学校見取図 附属小学校のPTA組織図(2010年度) 附属中学校校歌 附属中学校校歌 附属中学校校務分掌(2010年度) 1969年度国立学校施設設備概算要求「概算要求事項別説明書」 歴代教育学部長 2009年度学生定員数 2009年度選考方法別入学者数	819 830 840 840 842 843 848 851 853 854 862 783 784
図1 図2 図3 図4 図5 図6 図7 図8 図9 図10 図11 図12 図13 表1	教育学研究科修了者進路 … 学校種別教員採用者割合 … 2010年の附属幼稚園の施設概況 … 1943年の附属幼稚園見取図 … 1954年の附属幼稚園見取図 … 1970年の附属幼稚園見取図 … 附属小学校が目指す子ども像(教育目標) … 附属小学校見取図 …	819 830 840 840 842 843 851 853 854 862 783 784 784 798

表 6	歴代養護教諭養成所教官一覧	808
表7	歷代養護教諭養成課程教員(教官)一覧	809
表8	学科別修了者進路	819
表 9	歴代センター長一覧	822
表10	歷代専任教員一覧	822
表11	附属幼稚園年表(熊本大学移管以前)	824
表12	附属幼稚園年表(熊本大学移管以後)	825
表13	附属幼稚園における保育研究の動き	826
表14	附属幼稚園の組編成の変遷	830
表15	附属幼稚園における保育時間	831
表16	附属幼稚園の一日の流れ	831
表17	附属幼稚園における年間行事予定	832
表18	附属幼稚園児の体位の変化	833
表19	歴代附属幼稚園長・副園長・教諭 (教官) 一覧	833
表20	歷代附属幼稚園教職員一覧	837
表21	歴代附属幼稚園PTA会長名及び園児数一覧	839
表22	附属小学校における教育研究協議会のテーマ一覧	843
表23	附属小学校における教育実習受け入れ状況	846
表24	附属小学校の学級編成	846
表25	附属小学校における県費負担による転入教員一覧	847
表26	附属中学校における研究発表会のテーマ一覧	852
表27	附属中学校における教育実習受け入れ状況	855
表28	歷代附属中学校PTA会長一覧	856
表29	歷代附属中学校校長一覧	857
表30	歷代附属中学校副校長一覧	857
表31	特殊教育実験学級時代年表	859
表32	特殊学級時代年表	860
表33	特別支援学校父母の会会長一覧	864
表34	特別支援学校PTA会長一覧	865
表35	特別支援学校校長一覧	865
表36	特別支援学校副校長一覧	865
表37	特別支援学校教頭一覧	865
写真 1	現在の附属幼稚園正門	823
写真 2	附属幼稚園の様子 (端午の節句)	823
写真3	附属幼稚園から見える熊本城	831
写真4	附属幼稚園におけるもちつき	831
写真5	附属幼稚園の様子 (大楠)	
写真 6	1927年 (女子師範学校代用附属壺川幼稚園時代) のスケッチ	838
写真7	1951年の附属幼稚園	838
写真8	附属小学校伝統の臨海学校	849

写真10		
	耐震化工事で生まれ変わった附属中学校	850
□第7章	特別支援教育特別専攻科	
図 1	特殊教育特別専攻科をとりあげた1979年の熊本日日新聞記事	873
図 2	特殊教育 (特別支援教育) 特別専攻科の年度別学生数の推移	876
表1	臨時養護学校教員養成課程 (1年課程) の学生数	871
表2	臨時養護学校教員養成課程 (半年課程) の学生数	871
表3	臨時養護学校教員養成課程への現職派遣元及び派遣人数(1960~1972年度)	872
表 4	特殊教育特別専攻科の年度別学生数 (1973~2000年)	873
表5	特殊教育特別専攻科の年度別学生数 (2001~2010年)	875
表6	臨時養護学校教員養成課程の授業科目及び単位	877
表7	特殊教育特別専攻科授業科目及び単位 (1974年度)	878
表8	特殊教育特別専攻科授業科目及び単位 (1990年度)	879
表 9	特別支援教育特別専攻科(1種免許状取得コース)授業科目及び単位(2010年度)	880
表10	特別支援教育特別専攻科(専修免許状取得コース)授業科目及び単位(2010年度)	881
表11	特別支援教育専攻科の修了生概要	882
□第8章	養護教諭特別別科	
図 1	近年 (2000年~2009年) の別科入学者の学習歴の推移	888
表1	近年 (2000年~2009年) の別科入学者の学習歴	887
表2	特別別科教員(教官)一覧	888
■第4		
	編 学内共同教育研究施設系	
□第1章	編 学内共同教育研究施設条 	
		895
□第1章	附属図書館	
□ <b>第1章</b> 図1	<b>附属図書館</b> 発足時の附属図書館の管理運営組織	895
□ <b>第1章</b> 図1 表1	<b>附属図書館</b> 発足時の附属図書館の管理運営組織	895 901
□ <b>第1章</b> 図1 表1 表2	附属図書館         発足時の附属図書館の管理運営組織	<ul><li>895</li><li>901</li><li>901</li><li>902</li></ul>
□ <b>第1章</b> 図1 表1 表2 表3	附属図書館         発足時の附属図書館の管理運営組織       ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	895 901 901 902 908
□ <b>第1章</b> 図1 表1 表2 表3 表4	附属図書館         発足時の附属図書館の管理運営組織          附属図書館組織の変遷          電子ジャーナル契約タイトル数及び利用件数推移          学術リポジトリの年度別コンテンツ数増加推移          OPAC利用件数推移          貴重資料展テーマ一覧(1984~2009年)          貸出統計(冊数)	895 901 901 902 908 912
□ <b>第1章</b> 図1 表1 表2 表3 表表表	附属図書館         発足時の附属図書館の管理運営組織	895 901 901 902 908 912 912
□ <b>第1章</b> 図1 表1 表2 表3 表4 表5	附属図書館         発足時の附属図書館の管理運営組織	895 901 901 902 908 912 912 913
□ <b>第1章</b> 図1 表1 表表表表表表表表表表表表表表表表	附属図書館         発足時の附属図書館の管理運営組織	895 901 901 902 908 912 913 915
□ <b>第1章</b> 図1 表1 表2 表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	附属図書館         発足時の附属図書館の管理運営組織          附属図書館組織の変遷          電子ジャーナル契約タイトル数及び利用件数推移          学術リポジトリの年度別コンテンツ数増加推移          OPAC利用件数推移          貴重資料展テーマ一覧(1984~2009年)          貸出統計(冊数)          入館統計(人数)          年度別蔵書数の推移(館別、1949~2008年度)          附属図書館歴代館長・分館長・分室長一覧          附属図書館歴代事務長・事務部長等一覧	895 901 901 902 908 912 913 915 917
□ <b>第1章</b> 図表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	附属図書館         発足時の附属図書館の管理運営組織	895 901 901 902 908 912 913 915 917 919

写真 1	現在の医学系分館	897
写真 2	現在の薬学部分館	898
写真3	附属図書館所蔵貴重資料	906
□第2章	保健センター	
図 1	熊本大学の安全衛生管理体制	
表1	保健センター年表	
表2	保健センター関係職員一覧	
表3	学生定期健康診断受診率	
表 4	日常外来受診件数 (内科など)	
表5	心理精神相談件数	938
表6	感染対策件数	
写真 1	保健センター棟全景	
写真 2	保健センター内の相談室	
写真3	保健センター測定コーナー	926
□第3章	大学院先導機構	
図 1	大学院先導機構イメージ	943
表1	拠点形成研究課題一覧(2010年度現在)	944
□第4章	イノベーション推進機構	
図 1	産学連携関係部門の変遷及びイノベーション推進機構の成り立ち	953
表1	熊本大学・国・熊本県の産学官連携の動向	954
表 2	高度技術研修会一覧	966
表3	産・学・官交流シンポジウム (産学官技術交流会) 一覧	966
表 4	大学院生起業化プロジェクト採択件数	969
表5	大学院生・教員共同起業化プロジェクト採択数	969
表6	大型研究プロジェクト採択一覧	
表7	VBL中核的研究機関研究員数	
表8	インキュベーション施設研究開発室利用者一覧	971
表9	KICO (地域共同研究センター) 歴代教員	
表10	歷代客員教授	
表11	発明届出、特許出願及び特許取得件数	
表12	共同研究及び受託研究の件数及び受入金額	
表13	有体物移転契約 (MTA) 実績 •••••••••••••••••••••••••••••••••••	
表14	大学発ベンチャー一覧	
表15	熊本TLOの特許出願と取得件数	979
□第5章	国際化推進機構、国際化推進センター	
図 1	国際化推進機構の構成概略	990

図 2	国際化推進センターの組織及び業務内容	··· 990
表1	法人化前年度 (2003年度) の留学生センター教員数	986
表 2	歴代留学生センター長一覧	··· 986
表3	留学フェアや進学説明会の参加リスト	993
表 4	受入身分別留学生数の推移	··· 993
表5	熊本留学生交流推進協議会年間行事スケジュール(2011年)	994
表6	熊本県内大学の留学生数	··· 995
□第6章	総合情報基盤センター	
図1	情報処理センター施設と設備配置図 (1987~1990年)	1005
図 2	データ通信ネットワーク構成図 (1987~1990年)	
図 3	情報処理センターシステム構成図 (1987~1990年)	
図 3 図 4	総合情報処理センター施設と設備配置図 (1990~1994年)	
図 5	総合情報処理センターシステム構成図 (1990~1994年)	
	ボー 同 報 処 理 センターン 入 ケ ム 構 成 図 (1990~1994年)	
図 6	### 200	
図 7	総合情報処理センタール版 (1994年~) ************************************	
図8		
図 9	熊本大学ネットワーク構成図 (1994年~、ATMは1996~2002年) ······	
図10	実習室ネットワーク構成図 (1996~2002年)	
図11	実習室ネットワーク構成図 (1996~2002年)	
図12	10G化されたKUIC構成図 (2002~2010年)	
図13	全学無線LAN構成図 (2003~現在)	
図14	全学情報教育システム構成図 (2002年~現在)	
図15	「情報基礎A」イメージ(2004年前学期)	
図16	「情報処理概論」イメージ(2004年前学期)	
図17	「情報基礎A」イメージ(2010年前学期)	
図18	「繰り返し受験可能な確認テストの学習効果」イメージ(2004年後学期)・・・・	
図19	WebCT、SOSEKI、情報教育システムの連携図	
表1	レンタル費用と教職員数の変遷	
表2	外部評価状況―教育に関する「質の判断」(2008年)	
表 3	外部評価状況―研究に関する「質の判断」(2008年)	
表 4	外部評価状況―高度情報化キャンパスの実現に関する「質の判断」(2008年) …	
表 5	外部評価状況―社会貢献に関する「質の判断」(2008年)	
表6	外部評価状況―管理運営に関する「質の判断」(2008年)	
写真1	FACOM231の一部	
写真 2	現在のサーバ群 (2010年3月)	
写真3	アナログ計算機 CASIO AL-1 ····································	
写真 4	情報処理センター1986年当時	
写真 5	FM-16 β によるPC情報処理実習室	
写真 6	FACOM M-360システム	· 1007

写真7	VPX210/10S及びSPP-1000/XA8	• 1012
写真8	総合情報処理センター建物完成当時 (1994年)	• 1014
写真 9	センター L2/L3スイッチLAN及びATM-KUIC構成機器	• 1014
写真10	HPExemplarVS2250KS及びSGI Origin2000 並列計算機	• 1014
写真11	情報教育実習室及び学生用ファイルサーバ (2003~2007年)	• 1020
写真12	外国語CALL教室及び学生用ファイルサーバ(2007年~現在)	• 1021
写真13	研究支援サーバSGI Onyx3800とFUJITSU RX300S2	• 1021
□第7章	大学教育機能開発総合研究センター	
図 1	大学教育機能開発総合研究センター組織図	• 1032
図 2	「教養教育に関するFD研究会2008」チラシ	• 1040
図 3	CALL英語学習支援システムのトップページ	• 1048
図 4	CALL英語学習支援システムの一例	• 1048
表1	カリキュラム開発部門 (CALL担当) の歴代担当教員一覧	• 1046
表 2	大学教育機能開発総合研究センター担当業務一覧	• 1050
表3	「21世紀型大学教育セミナー」 開催状況一覧	• 1050
表 4	歴代大学教育機能開発総合研究センター長	• 1051
□第8章	政策創造研究教育センター	
図 1	熊本大学地域貢献特別支援事業の概要	• 1056
図 2	政策創造研究教育センターの新組織図	• 1060
図 3	プロジェクト研究の系譜 (2005~2009年)	• 1063
表1	政策フォーラム開催状況	• 1066
表 2	公開講座数(2001~2009年度)	· 1067
表3	知のフロンティアの開催回数 (2001~2009年度)	· 1067
表 4	授業開放科目数 (2001~2009年度)	• 1067
表5	放送講座の提供 – テレビ講座一覧 (2001~2009年度)	• 1067
表6	放送講座の提供 – ラジオ講座一覧 (2001~2009年度)	
表7	『熊本大学ブックレット』刊行一覧	• 1068
表8	自治体専門職員研修支援一覧	
表 9	総合学習支援事業一覧	• 1068
写真 1	発足当初の政策創造研究センター	
写真2	政策創造研究教育センターが入居する共用棟黒髪 1	• 1060
□第9章	五高記念館	
図 1	1973年の資料館内配置図	• 1074
図 2	1988年の資料館内配置図	• 1075
図3	1992年の記念館内配置図	· 1076
図 4	2007年の記念館内配置図	• 1081
写真1	五高記念館パンフレット(熊本県文化協会)	· 1077

写真2	五高記念館ニューズレター(創刊号)	1078
□第10章	e ラーニング推進機構	
図1	e ラーニング推進機構の組織構成	1085
図 2	開発した各科目の授業用 e ラーニングコンテンツの例	
図 3	開発した職員研修用コンテンツの例	
図 4	開発したウェブサイトの例	
写真1	eラーニング推進機構除幕式 (2007年4月)	
写真 2	メディア収録スタジオ	
37.2		1000
□第11章	環境安全センター	
写真 1	中央廃液処理施設 (後の無機系廃液処理施設)	1096
写真 2	無機系廃液処理施設更新後の廃液処理施設	1099
写真3	安全の手引(1995年)	1102
写真4	現在の環境安全センター	1104
□祭12辛	<b>松羊粉卒中依機</b> 排	
□第12章	<b>教養教育実施機構</b>	1119
図 1 図 2	秋食部癿直凶 くさび型教育方式	
図 3	新カリキュラムの編成	
図 3 図 4	<ul><li> 大学教育研究センター組織図</li></ul>	
凶 4 図 5	大子教育研究センター 組織区 教養教育実施体制機構図	
表1	歷代教養部主事一覧	
表 2	歷代教養部長一覧	
表3	歴代大学教育研究センター長一覧	
表 4	歴代教養教育実施機構長一覧	
写真1	CALL教室 (2001年度)	
<b>子兴</b> 1	Childy (2001+12)	1127
□第13章	埋蔵文化財調査室	
図 1	黒髪南地区内における主な発掘調査地点	1146
図 2	黒髪南地区検出の古代官道と建物群の配置	1146
図 3	本荘・九品寺地区A内における主な発掘調査地点	1148
表1	埋蔵文化財調査室の職員・埋蔵文化財調査委員会委員長一覧(1994~2009年)	1141
表2	年度ごとの調査件数と年報・報告書番号	1142
表3	埋蔵文化財調査室の刊行物一覧	
写真 1	埋蔵文化財調査室企画展について報じる熊本日日新聞	
写真 2	勾玉作り実習の様子	
写真3	考古学講演会の様子	
写真 4	9704調査地点の弥生時代甕棺墓	
写真 5	0204調査地点の古代火葬墓	1147

写真 6	9412調査地点出土 「國」 銘土製印	1147
写真7	9407調査地点出土の刻書土器と土馬	1147
写真8	最初の本格的調査9601調査地点遠景	1149
写真 9	0119調査地点の古墳前期の溝と遺物	1149
写真10	0509調査地点の古墳中期の住居址	1149
写真11	古墳前期の溝に捨てられた土師器	1149
写真12	9601調査地点の古代溝	1149
写真13	土器に刻まれた「杦本寺」・「佛」	1149
写真14	9601調査地点古代溝から出土した土器類	1150
写真15	9601調査地点古代溝から出土した鉄器類	1150
写真16	0707調査地点の小区画水田	1150
写真17	9801・0712調査地点出土の帯金具	1150
写真18	9511調査地点の発掘の様子	1150
写真19	9511調査地点の古代竃	1150
写真20	体育館内での調査 (0819調査地点)	1151
写真21	9405調査地点遺構検出状況	1151
写真22	縄文時代早期の集石(9509調査地点) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1152
写真23	同石斧出土状況(9509調査地点)	1152
□第14章	<del>すってん</del> クログか	
□毎Ⅰ4早	事務組織	
□第14早	1949年 6 月 1 日の事務組織	
図 1 図 2	1949年 6 月 1 日の事務組織 ······ 1951年 7 月 1 日の事務組織 ·····	1159
図1	1949年 6 月 1 日の事務組織 ····· 1951年 7 月 1 日の事務組織 ···· 1965年 1 月 1 日の事務組織 ····	1159 1160
図 1 図 2 図 3 図 4	1949年 6 月 1 日の事務組織	1159 1160 1161
図 1 図 2 図 3	1949年 6 月 1 日の事務組織	1159 1160 1161 1163
図 1 図 2 図 3 図 4 図 5 図 6	1949年6月1日の事務組織         1951年7月1日の事務組織         1965年1月1日の事務組織         1979年7月1日の事務組織         1999年7月1日の事務組織         2004年4月1日の事務組織	1159 1160 1161 1163 1165
図 1 図 2 図 3 図 4 図 5 図 6 図 7	1949年6月1日の事務組織         1951年7月1日の事務組織         1965年1月1日の事務組織         1979年7月1日の事務組織         1999年7月1日の事務組織         2004年4月1日の事務組織         2009年4月1日の事務組織	1159 1160 1161 1163 1165 1167
図 1 図 2 図 3 図 4 図 5 図 6 図 7 図 8	1949年6月1日の事務組織         1951年7月1日の事務組織         1965年1月1日の事務組織         1979年7月1日の事務組織         1999年7月1日の事務組織         2004年4月1日の事務組織         2009年4月1日の事務組織         発足期の熊本大学建物配置図	1159 1160 1161 1163 1165 1167 1196
図 1 図 2 図 3 図 4 図 5 図 6 図 7 図 8 図 9	1949年6月1日の事務組織         1951年7月1日の事務組織         1965年1月1日の事務組織         1979年7月1日の事務組織         1999年7月1日の事務組織         2004年4月1日の事務組織         2009年4月1日の事務組織         発足期の熊本大学建物配置図         交流協定校数の推移	1159 1160 1161 1163 1165 1167 1196 1202
図 1 図 2 図 3 図 4 図 5 図 6 図 7 図 8	1949年6月1日の事務組織         1951年7月1日の事務組織         1965年1月1日の事務組織         1979年7月1日の事務組織         1999年7月1日の事務組織         2004年4月1日の事務組織         2009年4月1日の事務組織         発足期の熊本大学建物配置図         交流協定校数の推移         事務組織改革のイメージ	1159 1160 1161 1163 1165 1167 1196 1202 1229
図 1 図 2 図 3 図 4 図 5 図 6 図 7 図 8 図 9 図 10	1949年 6 月 1 日の事務組織 1951年 7 月 1 日の事務組織 1965年 1 月 1 日の事務組織 1979年 7 月 1 日の事務組織 1979年 7 月 1 日の事務組織 2004年 4 月 1 日の事務組織 2009年 4 月 1 日の事務組織 発足期の熊本大学建物配置図 交流協定校数の推移 事務組織改革のイメージ 2010年度改編予定の事務組織移行図	1159 1160 1161 1163 1165 1167 1196 1202 1229 1231
図 1 図 2 図 3 図 4 図 5 図 6 図 7 図 8 図 9 図 10 図 11 表 1	1949年 6 月 1 日の事務組織	1159 1160 1161 1163 1165 1167 1196 1202 1229 1231 1168
図 1 図 2 図 3 図 4 図 5 図 6 図 7 図 8 図 9 図 10 図 11 表 1	1949年 6 月 1 日の事務組織 1951年 7 月 1 日の事務組織 1965年 1 月 1 日の事務組織 1979年 7 月 1 日の事務組織 1999年 7 月 1 日の事務組織 2004年 4 月 1 日の事務組織 2009年 4 月 1 日の事務組織 発足期の熊本大学建物配置図 交流協定校数の推移 事務組織改革のイメージ 2010年度改編予定の事務組織移行図 熊本大学学則の改正経過 熊本大学大学院学則の改正経過	1159 1160 1161 1163 1165 1167 1196 1202 1229 1231 1168 1169
図 1 図 2 図 3 図 4 図 5 図 6 図 7 図 8 図 9 図 10 図 11 表 2 表 3	1949年 6 月 1 日の事務組織	1159 1160 1161 1163 1165 1167 1196 1202 1229 1231 1168 1169 1177
図 1 図 2 図 3 図 4 図 5 図 8 図 8 図 9 図 10 図 11 表 表 表 表 表 4	1949年 6 月 1 日の事務組織 1951年 7 月 1 日の事務組織 1965年 1 月 1 日の事務組織 1979年 7 月 1 日の事務組織 1979年 7 月 1 日の事務組織 2004年 4 月 1 日の事務組織 2009年 4 月 1 日の事務組織 発足期の熊本大学建物配置図 交流協定校数の推移 事務組織改革のイメージ 2010年度改編予定の事務組織移行図 熊本大学学則の改正経過 熊本大学大学院学則の改正経過 熊本大学大学院学則の改正経過 熊本大学はおける定員削減の状況	1159 1160 1161 1163 1165 1167 1196 1202 1229 1231 1168 1169 1177
図 1 図 2 図 3 図 4 図 5 図 6 図 7 図 8 図 9 図 10 図 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 5	1949年 6 月 1 日の事務組織	1159 1160 1161 1163 1165 1167 1196 1202 1231 1168 1169 1177 1178 1179
図 1 図 2 図 3 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図	1949年 6 月 1 日の事務組織	1159 1160 1161 1163 1165 1167 1196 1202 1229 1231 1168 1169 1177 1178 1179
図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図記記記記記記	1949年 6 月 1 日の事務組織	1159 1160 1161 1163 1165 1167 1196 1202 1229 1231 1168 1169 1177 1178 1179 1180 1181
図 1 図 2 図 3 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図	1949年 6 月 1 日の事務組織 1951年 7 月 1 日の事務組織 1965年 1 月 1 日の事務組織 1979年 7 月 1 日の事務組織 1999年 7 月 1 日の事務組織 2004年 4 月 1 日の事務組織 2009年 4 月 1 日の事務組織 発足期の熊本大学建物配置図 交流協定校数の推移 事務組織改革のイメージ 2010年度改編予定の事務組織移行図 熊本大学学則の改正経過 熊本大学学則の改正経過 熊本大学における定員削減の状況 熊本大学における定員削減の状況 熊本大学からの出向者数及び他機関からの受入者数(2009年 5 月 1 日現在) 事務職員研修実施一覧(2008・2009年度実施分) 歴代事務系役職者一覧 法人化前の歳出予算	1159 1160 1161 1163 1165 1167 1196 1202 1231 1168 1169 1177 1178 1179 1180 1181

表 9 - 1	法人化前の歳入予算 1190
表 9 - 2	法人化後の収入予算
表10	外部資金獲得状況
表11	施設・設備の主な整備状況 1197
表12	近年の外部資金等の獲得及び特許出願状況 1204
表13	公開講座及び授業開放の講座数の推移 1205
表14	近年の教員免許状の取得者数 (1999~2008年度) 1212
写真 1	プログラミング研修風景 1200
写真 2	感謝状贈呈式・学生表彰式 (2009年度)
写真3	キャリア支援課の様子 1214

## 熊本大学60年史 部局史編 執筆者・協力者

※1 五十音順、所属及び敬称等は省略した。※2 各章の編集担当には◎印を付した。

■第1編	生命科学	茶						
□第1章	医学部							
執筆者	荒木	栄一	興梠	博次	◎竹屋	元裕	西朋	券英
	原田	信志	山本	哲郎				
協力者	出良	真	濱砂	建郎	松下	修三		
□第2章	医学教育							
執筆者	西村	泰治	原田	信志	◎山本	哲郎		
協力者	◎竹屋	元裕						
□第3章	医学部	付属病院						
執筆者	荒木		安東	由喜雄	生田	義浩	池田	学
V - L	猪原	淑子	猪山	賢一	岩井	正憲	岩瀬	弘敬
	尹治		宇宿	功市郎	内場		大串	幹
	大林	光念	小窪	滋子	片渕		川口	 辰哉
	菊池	健	木下	順弘	黒田	豊子	黒田	豊
	◎興梠	博次	齋藤	秀之		上 裕	谷口	純一
	谷原	秀信	角田	等	西 -		橋田	昌弘
	稗田	君子	本間	恵子	増口		益田	美奈子
	右田	香魚子	満屋	裕明	三渕	浩	安田	修
	山下	康行	山田	和慶	山部	浩茂	山本	達郎
協力者	猪股	裕紀洋	川添	光芳	◎宮田			
□第4章	保健学教	收育部						
執筆者	◎荒木	不次男	尾山	タカ子	木原	信市	熊谷	エツ子
	坂梨	京子	島村	正道	田中	紀美子	角田	俊治
	橋本	弘司	佛坂	博正	前田	ひとみ		
□第5章	薬学部							
執筆者	安陪	光恭	荒田	良則	◎有馬	英俊	池水	信二
71-1	石塚	忠男	石塚	洋一	石原	務	異島	優
	今井	輝子	入江	徹美	入倉	充	入口	利之
	大浦	華代子	大塚	雅巳	岡本	良成		可 優樹
	甲斐	俊哉	甲斐	広文	門脇	大介	川原	修
	川原	浩一	河端	茂	北原	国明	城戸	裕
	川凉	口	們如	IX.	北水	四切	が以戸	ПŢ

	國安	明彦	黒崎	博雅	古閑	真依	斎藤	秀之
	猿渡	淳二	島本	真理子	首藤	剛		ラス 全
	白﨑	哲哉	末永	綾香	杉本	幸彦	諏訪	喜昭
	副田	二三夫	高濱	和夫	高宗	暢暁	田代	昭
	田中	一一八 健一郎	田中	栄緒	寺沢	宏明	寺本	理香
	富高	友美	友田	カオリ	中川	和子	中富	宏
	中村	堅兒	中村	志郎	中村	照也	西山	麻砂美
	濱田	哲暢	◎久恒	昭哲	平田	純生	福永	美里
	藤田	雅紀	藤田	美歌子	星野	竜也	松永	浩文
	丸山	徹	三隅	将吾	水島	徹	宮田	敬士
	村上	広高				na.	森岡	弘志
	矢原	正治	山川	直樹	山縣	ゆり子	山口	一美
	吉永	壮佐	米田	幸子	渡邊	博志		, ,
			• • •					
□第6章	薬学教育	部						
執筆者	◎有馬	英俊	池田	剛	礒濱	洋一郎	大塚	雅巳
	甲斐	広文	香月	博志	小谷	俊介	◎白﨑	哲哉
	末永	綾香	杉浦	正晴	塚本	佐知子	中島	誠
	中冨	宏	久恒	昭哲	本山	敬一	矢原	正治
□第7章	生命科学	学研究部						
□ <b>第7章</b> 執筆者	<b>生命科</b> 学	<b>学研究部</b> 孝章	浅井	篤	荒木	栄一	荒木	令江
			浅井 安東	篤 由喜雄	荒木 池田	栄一	荒木 池田	令江 学
	赤池	孝章						
	赤池 ◎有馬	孝章 英俊	安東	由喜雄	池田	剛	池田	学
	赤池 ◎有馬 池水	孝章 英俊 信二	安東 石塚	由喜雄 忠男 裕紀洋	池田 石塚	剛 洋一	池田 礒濱 入倉	学 洋一郎
	赤池 ◎有馬 池水 伊藤	孝章 英俊 信二 隆明	安東 石塚 猪股	由喜雄 忠男 裕紀洋	池田 石塚 入江	剛 洋一 徹美	池田 礒濱 入倉	学 洋一郎 充
	赤有池伊岩浴大 ● 岩浴大	孝英信隆弘成雅章俊二明敬生巳	安石猪尹江大	由	池田 石塚 入江 内野	剛 洋一 徹美 誠	池 礒 倉 字池 小川	学 洋一郎 充 下 輔 雄一 人雄
	赤有池伊岩浴大小 一种 岩浴大小	孝英信隆弘成雅章俊二明敬生已優	安石猪尹江大甲东塚股 藤屋斐	由 忠 裕信 正 夏 広告信 俊生 文	池石入内遠岡片田塚江野藤本渕	剛洋徹誠文良秀	池礒入字尾小香	学 学 完 大 末 大 中 一 体 本 大 一 本 表
	○ 赤有池伊岩浴大小加池馬水藤瀬野塚田藤	孝英信隆弘成雅 貴章俊二明敬生已優彦	安石猪尹江大甲川東塚股 藤屋斐筋	由忠裕信正夏広道喜男紀後生文雄	池石入内遠岡片川田塚江野藤本渕原	剛洋徹誠文良秀浩一美夫成隆一	池礒入字尾小香魏田濱倉都池川月	学洋充 雄久博年 人姓志
	◎ 赤有池伊岩浴大小加木 池馬水藤瀬野塚田藤下	孝英信隆弘成雅 貴順章俊二明敬生已優彦弘	安石猪尹江大甲川木東塚股 藤屋斐筋村	由忠裕信正夏広道重喜男紀(俊生文雄美雄)	池石入内遠岡片川國田塚江野藤本渕原安	剛洋徹誠文良秀浩明一美 夫成隆一彦	池礒入字尾小香魏倉田濱倉都池川月津	学洋充 群 久博 年 純 大 一 雄 志 — 一
	○ 赤有池伊岩浴大小加木黑池馬水藤瀬野塚田藤下崎	孝英信隆弘成雅 貴順博章俊二明敬生巳優彦弘雅	安石猪尹江大甲川木小東塚股 藤屋斐筋村糸	由忠裕信正夏広道重厚喜男紀 俊生文雄美雄 洋	池石入内遠岡片川國興田塚江野藤本渕原安梠	剛洋徹誠文良秀浩明博一美善夫成隆一彦次	池礒入字尾小香魏倉小田濱倉都池川月 津谷	学洋充 雄久博年純俊一 大一雄志 一介
	◎ 赤有池伊岩浴大小加木黑小池馬水藤瀬野塚田藤下崎原	孝英信隆弘成雅 貴順博恭章俊二明敬生巳優彦弘雅子	安石猪尹江大甲川木小斎東塚股 藤屋斐筋村糸藤	由忠裕信正夏広道重厚秀喜男紀 俊生文雄美 之雄	池石入内遠岡片川國興阪田塚江野藤本渕原安梠口	剛洋徹誠文良秀浩明博薫一美善夫成隆一彦次雄	池礒入字尾小香魏倉小佐田濱倉都池川月 津谷々	学洋充 雄久博年純俊一 大一雄志 一介裕
	<ul><li>○ おおります</li><li>○ おお</li></ul>	孝英信隆弘成雅 貴順博恭淳章俊二明敬生巳優彦弘雅子二	安石猪尹江大甲川木小斎篠東塚股 藤屋斐筋村糸藤原	由忠裕信正夏広道重厚喜男紀 俊生文雄美雄 洋	池石入内遠岡片川國興阪首田塚江野藤本渕原安梠口藤	剛洋徹誠文良秀浩明博薫剛一美善夫成隆一彦次雄	池礒入字尾小香魏倉小佐白田濱倉都池川月 津谷々﨑	学洋充 雄久博年純俊 哲一大一雄志 一介裕哉郎 輔
	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○<th>孝英信隆弘成雅 貴順博恭淳・章俊二明敬生巳優彦弘雅子ニア</th><th>安石猪尹江大甲川木小斎篠イ東塚股 藤屋斐筋村糸藤原コ</th><th>由忠裕信正夏広道重厚秀正喜男紀 俊生文雄美 之徳雄</th><th>池石入内遠岡片川國興阪首末田塚江野藤本渕原安梠口藤永</th><th>剛洋徹誠文良秀浩明博薫剛綾一美善夫成隆一彦次雄善香</th><th>池礒入字尾小香魏倉小佐白杉田濱倉都池川月 津谷々﨑浦</th><th>学洋充 雄久博年純俊 哲正一大一雄志 一介裕哉晴郎 輔</th></li></ul>	孝英信隆弘成雅 貴順博恭淳・章俊二明敬生巳優彦弘雅子ニア	安石猪尹江大甲川木小斎篠イ東塚股 藤屋斐筋村糸藤原コ	由忠裕信正夏広道重厚秀正喜男紀 俊生文雄美 之徳雄	池石入内遠岡片川國興阪首末田塚江野藤本渕原安梠口藤永	剛洋徹誠文良秀浩明博薫剛綾一美善夫成隆一彦次雄善香	池礒入字尾小香魏倉小佐白杉田濱倉都池川月 津谷々﨑浦	学洋充 雄久博年純俊 哲正一大一雄志 一介裕哉晴郎 輔
	◎ 赤有池伊岩浴大小加木黑小猿メ杉池馬水藤瀬野塚田藤下崎原渡ア本	孝英信隆弘成雅 貴順博恭淳・幸章俊二明敬生巳優彦弘雅子ニア彦	安石猪尹江大甲川木小斎篠イ鈴東塚股 藤屋斐筋村糸藤原コ木	由忠裕信正夏広道重厚秀正善害男紀 俊生文雄美 之徳	池石入内遠岡片川國興阪首末諏田塚江野藤本渕原安梠口藤永訪	剛洋徹誠文良秀浩明博薫剛綾喜一美善夫成隆一彦次雄善香昭	池礒入字尾小香魏倉小佐白杉瀬田濱倉都池川月 津谷々﨑浦戸	学洋充 雄久博年純俊 哲正一十一 大一雄志 一介裕哉晴千郎 輔
	◎ おおおおおおおり おおり おおり おおり おおり おい はい はい ない がっぱい ない はい	孝英信隆弘成雅 貴順博恭淳・幸杰章俊二明敬生巳優彦弘雅子二ア彦	安石猪尹江大甲川木小斎篠イ鈴副東塚股 藤屋斐筋村糸藤原コ木田	由忠裕信正夏広道重厚秀正 実二喜男紀 俊生文雄美 之徳 三雄 洋	池石入内遠岡片川國興阪首末諏高田塚江野藤本渕原安梠口藤永訪濱	剛洋徹誠文良秀浩明博薫剛綾喜和一美 夫成隆一彦次雄 香昭夫	池礒入字尾小香魏倉小佐白杉瀬高田濱倉都池川月 津谷々﨑浦戸宗	学洋充 雄久博年純俊 哲正 暢一 大一雄志 一介裕哉晴千晓郎 輔
	◎	孝英信隆弘成雅 貴順博恭淳・幸杰元章俊二明敬生巳優彦弘雅子二ア彦 裕	安石猪尹江大甲川木小斎篠イ鈴副田東塚股 藤屋斐筋村糸藤原コ木田中	由忠裕信正夏広道重厚秀正 実二健喜男紀 俊生文雄美 之徳  三一雄 洋	池石入内遠岡片川國興阪首末諏高田田塚江野藤本渕原安梠口藤永訪濱中	剛洋徹誠文良秀浩明博薫剛綾喜和英一美善夫成隆一彦次雄善香昭夫明	池礒入字尾小香魏倉小佐白杉瀬高谷田濱倉都池川月 津谷々﨑浦戸宗原	学洋充 雄久博年純俊 哲正 暢秀一 大一雄志 一介裕哉晴千晓信郎 輔
	◎ おおおおおおおり おおり おおり おおり おおり おい はい はい ない がっぱい ない はい	孝英信隆弘成雅 貴順博恭淳・幸杰章俊二明敬生巳優彦弘雅子二ア彦	安石猪尹江大甲川木小斎篠イ鈴副東塚股 藤屋斐筋村糸藤原コ木田	由忠裕信正夏広道重厚秀正 実二喜男紀 俊生文雄美 之徳 三雄 洋	池石入内遠岡片川國興阪首末諏高田塚江野藤本渕原安梠口藤永訪濱	剛洋徹誠文良秀浩明博薫剛綾喜和一美 夫成隆一彦次雄 香昭夫	池礒入字尾小香魏倉小佐白杉瀬高田濱倉都池川月 津谷々﨑浦戸宗	学洋充 雄久博年純俊 哲正 暢一 大一雄志 一介裕哉晴千晓郎 輔

	中村	照也	西谷	陽子	西村	泰治	馬場	秀夫	
	濱田	哲暢	原田	信志	久恒	昭哲	福田	孝一	
	藤田	雅紀	藤田	美歌子	星野	竜也	松永	浩文	
	水島	徹	水田	博志	三隅	将吾	満屋	裕明	
	光山	勝慶	宮田	敬士	本山	敬一	森岡	弘志	
	矢原	正治	山縣	和也	山縣	ゆり子	山下	康行	
	山本	達郎	山本	哲郎	湯本	英二	吉永	壮佐	
□第8章	生命資源	原研究・支	援センク	ター					
執筆者	◎荒木	喜美	荒木	正健	礒部	靖博	上村	実也	
	浦野	徹	川原	修	城戸	裕	古嶋	昭博	
	高椋	光博	中潟	直己	山村	研一			
		学研究セン							
執筆者	岡田		滝口	雅文	原田	信志	◎松下	修三	
	◎吉村	和久							
	-v.11 \	\							
	発生医療		1 111	16-1 4-1-	@ I II.	s te	HW 155	77 June	
執筆者	◎江良			峰太郎			勝り		
	粂 田			木 洋			関上		
	千住	筧	出貨	哲也	立石	智	◎中尾	光善	
	2 2241	nn 스	الملك ترون	_L 17/5	.1.17	Next:	. 1 . 1. 1.	7°TI*	
	永渕	昭良	西中村	讨 隆一	山田	源	山村	研一	
■筆2編			西中村	对 隆一	山田	源	山村	研一	
■第2編 □第1章	自然科学		西中村	对 隆一	山田	源	山村	研一	
□第1章	<b>自然科</b> 等 理学部	学系							
	<b>自然科等</b> 理学部 荒井	<b>学系</b> 賢三	市川	聡夫	◎伊藤	喜久男	井上	尚夫	
□第1章	<b>自然科等</b> 理学部 荒井 木村	<b>学系</b> 賢三 弘信	市川	聡夫	◎伊藤 寺本	喜久男進	井上 戸田	尚夫	
□第1章	<b>自然科等</b> <b>理学部</b> 荒井 木村 豊原	<b>学系</b> 賢三 弘信 富士夫	市川實政中村	聡夫 勲 政明	◎伊藤 寺本 原岡	喜久男 進 喜重	井上 戸田	尚夫敬	
□第1章	<b>自然科等</b> 理学部 荒井 木村	<b>学系</b> 賢三 弘信	市川實政中村	聡夫	◎伊藤 寺本	喜久男 進 喜重	井上 戸田	尚夫	
□第1章	<b>自然科等</b> <b>理学部</b> 荒井 木村 豊原	<b>学系</b> 賢三 弘信 富士夫	市川實政中村	聡夫 勲 政明	◎伊藤 寺本 原岡	喜久男 進 喜重	井上 戸田	尚夫	
□ <b>第1章</b> 執筆者	自然科学 一	<b>学系</b> 賢三 弘信 富士夫	市川實政中村	聡夫 勲 政明	◎伊藤 寺本 原岡	喜久男 進 喜重	井上 戸田	尚夫	
□ <b>第1章</b> 執筆者 □ <b>第2章</b>	自然科 理学 荒木豊山 上学 工学部	学系 賢三 弘信 富士夫 淳	市川實政中村吉田	聡夫 勲 政明 昌文	◎伊藤 寺本 原 渡 邉	喜久男 進 喜重 アツミ	井上 戸田 古島	尚夫敬幹雄	
□ <b>第1章</b> 執筆者 □ <b>第2章</b>	自然 群	<b>学系</b> 賢三 弘信 富士夫 淳	市町中吉田	聡 東 東 明 文 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	◎伊藤本岡邊 有次	喜	井上田島安藤	尚 敬 幹 雄 新二	
□ <b>第1章</b> 執筆者 □ <b>第2章</b>	<b>自理</b>	<b>学系</b> 賢 弘 富 淳  秀 全	市實中吉 芦位井	聡勲 政昌 評和	◎伊寺原渡 有池	喜久男 連重 ア 正 知 類	井戸古安石藤飛	尚 敬 幹 雄 二 章	
□ <b>第1章</b> 執筆者 □ <b>第2章</b>	<b>自理</b> 荒木豊山 <b>学</b> 秋飯伊	<b>学系</b> 賢弘富淳 秀全重 典 広 剛	市實中吉 芦位井	聡勲政昌 評和高夫 明文 准久宏	○ 伊寺原渡 有池伊藤本岡邉 次上原	喜進喜ア 正知博外 ま 乗 乗 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	井戸古安石岩藤飛本	尚敬 幹 新光知	
□ <b>第1章</b> 執筆者 □ <b>第2章</b>	<b>自理</b>	<b>学系</b> 賢弘富淳 秀全重裕 一一	市實中吉 芦位井宇	聡勲政昌 評和高 共 明文 准久宏毅	◎ 伊寺原渡 有池伊内藤本岡邉 次上原村	喜進喜ア 正知博圭 乗り 乗り まん かん	井戸古安石岩大出島藤飛本渕	尚敬幹 新光知慶夫 雄 二章広史	
□ <b>第1章</b> 執筆者 □ <b>第2章</b>	<b>自理</b>	<b>学系</b> 賢弘富淳  秀全重裕智  三信士  典広剛市成	市實中吉 芦位井宇岡川政村田 原寄上佐部	聡勲政昌 評和高 猛夫 明文 准久宏毅	○ 有池伊內奥河群本岡邊 次上原村野原	喜進喜ア 正知博圭洋外 乗 ま	井戸古 安石岩大尾上田島 藤飛本渕原	尚敬幹 新光知慶雄夫 雄 二章広史三	
□ <b>第1章</b> 執筆者 □ <b>第2章</b>	<b>自理</b>	<b>斧</b> 賢弘富淳 秀全重裕智淳 二信士 典広剛市成	市實中吉 芦位井宇岡角國川政村田 原寄上佐部田武	聡勲政昌 評和高 猛法夫 明文 准久宏毅 也	○ 有池伊內奥河群本岡邊 次上原村野原	喜進喜ア 正知博圭洋正久 重ツ 義顯隆一一泰男	井戸古 安石岩大尾木上田島 藤飛本渕原田	尚敬幹 新光知慶雄建夫 雄 二章広史三次	
□ <b>第1章</b> 執筆者 □ <b>第2章</b>	<b>自理</b> 工 ◎ <b>然学</b> 荒木豊山 学秋飯伊上緒勝北 <b>科</b> 部井村原元 部山田藤田方木園	<b>茶</b> 賢弘富淳 秀全重裕智淳芳三信士 典広剛市成 人	市實中吉 芦位井宇岡角國小川政村田 原寄上佐部田武塚	聡勲政昌 評和高 猛法雅夫 明文 准久宏毅 也司	◎ 有池伊内奥河久伊寺原渡 有池伊内奥河久藤本岡邉 次上原村野原保	喜進喜ア 正知博圭洋正久 重ツ 義顯隆一一泰弘男	井戸古 安石岩大尾木小上田島 藤飛本渕原田糸	尚敬幹 新光知慶雄建康夫 雄 二章広史三次志	

城 昭典 末吉 敏則 苣木 禎史 趙 華安 鳥越 一平 峠 睦 連川 貞弘 中村 有水 西本 昌彦 西山 勝彦 原田 博之 檜山 隆 藤原 和人 廣江 哲幸 藤吉 孝則 町田 正人 松島 章 松田 元秀 松永 信智 松田 光弘 松本 泰道 丸茂 康男 三田 長久 水本 郁朗 宗像 瑞恵 村上 聖 森園 靖浩 村山 伸樹 矢野 隆 山崎 倫昭 構井 裕之 □第3章 自然科学研究科 秋山 秀典 ◎伊藤 喜久男 ◎伊藤 重剛 荒井 賢三 伊東 龍一 大本 照憲 小川 厚治 尾原 祐三 河原 正泰 木村 弘信 瀧尾 進 坂本 英俊 寺本 進 豊原 富士夫 戸田 敬 富村 寿夫 内藤 幸一郎 中村 政明 中村 有水 西本 昌彦 西山 忠男 松島 章 松本 泰道 吉田 昌文 渡邉 アツミ □第4章 沿岸域環境科学教育研究センター 秋元 和實 嶋田 純 嶋永 元裕 瀧尾 進 滝川 清 ◎逸見 泰久 □第5章 衝撃・極限環境研究センター

執筆者 赤井 一郎 久保田 弘 檜山 隆 ◎外本 和幸

真下 茂

□第6章 バイオエレクトリクス研究センター

執筆者 秋山 秀典 勝木 淳 後藤 元信 ◎高野 博嘉

> 浪平 隆男 矢野 憲一

#### ■第3編 人文・社会科学系

□第1章 法文学部

執筆者

執筆者

執筆者 ◎吉村 豊雄

□第2章 文学部、文学研究科

足立 啓二 執筆者 市川 雅己 ◎伊原 信一 ◎江川 良裕

> ◎大杉 佳弘 荻野 蔵平 隈元 貞広 慶田 勝彦 兜玉 望 小松 裕 三瓶 弘喜 シンジルト 杉井 健 杉谷 恭一 鈴木 寛之 高橋 隆雄

◎寶月 拓三 松浦 雄介 山田 積 吉川 榮一 ◎吉村 豊雄 渡邊 功

#### □第3章 法学部、法学研究科

執筆者 ◎深町 公信

#### □第4章 社会文化科学研究科

執筆者 岩岡 中正 上野 真也 鈴木 克明 福澤清

◎森 正人 安川 文朗 山崎 広道 山下 徹

吉川 榮一 渡邉 功

#### □第5章 法曹養成研究科

執筆者 石橋 洋 橋本 眞 平田 元 松原 弘信

山本 悦夫

協力者 ◎福山 素士

#### □第6章 教育学部、教育学研究科

執筆者 跡上 史郎 池田 志郎 今村 靖男 大迫 靖雄

> 大塚 幸裕 緒方 信行 岸木 敬太 五嶋 改藏 田中 洋一 谷口 紘八 塚本 光夫 辻野 智二 黨 武彦 錦井 利臣 登田 龍彦 中川 保敬 春田 直紀 藤中 隆久 干川 隆 堀 浩太郎 ◎宮瀬 美津子 山本 信也 松田 芳子 吉田 道雄

吉永 誠吾 協力者 椙山 範夫

#### □第7章 特別支援教育特別専攻科

執筆者 干川 隆

協力者 ◎宮瀬 美津子

#### □第8章 養護教諭特別別科

入谷 仁士 執筆者

協力者 ◎宮瀬 美津子

#### ■第4編 学内共同教育研究施設系

#### □第1章 附属図書館

秋吉 陽一郎 安陪 光恭 川内野 祐子 執筆者 田川 登紀子

> ◎永田 正次 成田 和則 永村 典子 新野 靖

濵﨑 千雅 宮津 照代

#### □第2章 保健センター

#### 1258 熊本大学60年史 部局史編 執筆者・協力者

執筆者 ◎岸川 秀樹

□第3章 大学院先導機構

執筆者 ◎北村 武紀

□第4章 イノベーション推進機構

執筆者 荒井 俊昭 大串 渉 ◎緒方 智成 草野 民三

 古家 達也
 佐藤 嘉洋
 里中 忍
 志賀 春美

 千田 晋
 土本 百合子
 永井 勝幸
 野崎 実奈

守田 はるな 山村 研一 吉本 昭彦

□第5章 国際化推進機構、国際化推進センター

執筆者 ◎小脇 光男 ◎鳥居 修一 古川 憲治

□第6章 総合情報基盤センター

執筆者 入口 紀男 上野 陽子 木田 健 久保田 真一郎

 島本
 勝
 杉谷
 賢一
 ◎辻
 一隆
 永井
 孝幸

 中野
 裕司
 林
 恵里
 松元
 亜樹
 右田
 雅裕

◎武藏 泰雄 渡 久美子

□第7章 大学教育機能開発総合研究センター

執筆者 大森 不二雄 岡部 勉 菅岡 強司 ◎安浪 誠祐

渡邊 あや

□第8章 政策創造研究教育センター

執筆者 上野 眞也

協力者 ◎河村 洋子 ◎矢加部 和幸

□第9章 五高記念館

執筆者 岩﨑 竹彦 ◎薄田 千穂

□第10章 e ラーニング推進機構

執筆者 ◎喜多 敏博 松葉 龍一

協力者 伊澤 睦 坂田 愛 坂本 瑞穂 志村 友行

常本 有紀 西本 陽子 橋本 考司 花田 亜希子

宮川 崇仁 龍 富美子

□第11章 環境安全センター

執筆者 首藤 征男 城 昭典 古川 憲治 矢原 正治

◎山口 佳宏

協力者 片山 謙吾 前田 聖子

#### □第12章 教養教育実施機構

執筆者 ◎岡部 勉

協力者 坂梨 正治 田中 雄次

#### □第13章 埋蔵文化財調査室

執筆者 大坪 志子 ◎小畑 弘己 木下 尚子

#### □第14章 事務組織

執筆者 荒木 英昭 岩間 吉治 浦田 秀一 尾方 憲一 ◎小原 康伸 久保田 英明 坂梨 正治 澤田 敬 城川 由美 ◎鈴木 武 角崎 康弘 芹川 克朗 芹川 敏郎 ◎園田 秋雄 園田 哲朗 田代 真治 中村 志郎 中村 正人 西村 兆司 西山 弘樹 濱津 篤 平川 勝次 福本 哲也 増村 隆之 丸山 義美 宮田 達也 宮津 勇一 村上 博昭 森 保夫 森部 英俊 柳瀬 寿 山内 裕治

山田 雅昭 吉井 裕治 吉本 昭彦

### 熊本大学60年史編纂委員会

#### ■委員長

菅原 勝彦 2008年4月1日~2009年3月31日 田口 宏昭 2009年4月1日~2011年3月31日

山中 至 2011年4月1日~現在

■60年史編纂室室長

安田 宗生 2008年4月1日~現在

■60年史編纂室副室長

三澤 純 2008年4月1日~現在

■附属図書館長

田口 宏昭 2008年4月1日~2009年3月31日 入口 紀男 2009年4月1日~2011年3月31日

森 正人 2011年4月1日~現在

■文学部

小林 幸夫 2008年4月1日~2011年3月21日

吉村 豊雄 2011年3月22日~現在

■教育学部

宮瀬美津子 2008年4月1日~現在

■法学部

岩岡 中正 2008年4月1日~2010年3月31日

深町 公信 2010年4月1日~現在

■社会文化科学研究科

安田 宗生 2008年4月1日~2010年3月31日

森 正人 2010年4月1日~現在

■保健学教育部

荒木不次男 2008年4月1日~現在

■法曹養成研究科

 林
 勝美
 2008年4月1日~2010年3月31日

 木下
 和朗
 2010年4月1日~2011年3月31日

福山 素士 2011年4月1日~現在

#### ■医学部附属病院

興梠 博次 2008年4月1日~現在

#### ■総合情報基盤センター

武藏 泰雄 2008年4月1日~現在

#### ■大学教育機能開発総合研究センター

安浪 誠祐 2008年4月1日~現在

#### ■生命資源研究・支援センター

鈴木 操 2008年4月1日~2010年2月27日

荒木 喜美 2010年2月28日~現在

#### ■エイズ学研究センター

吉村 和久 2008年4月1日~2012年3月31日

松下 修三 2012年4月1日~現在

#### ■発生医学研究所(旧発生医学研究センター)

中尾 光善 2008年4月1日~2009年3月31日

江良 択実 2009年4月1日~現在

#### ■自然科学研究科・理学系

伊藤喜久男 2008年4月1日~2012年3月31日

渡邉アツミ 2012年4月1日~現在

#### ■自然科学研究科・工学系

伊藤 重剛 2008年4月1日~現在

#### ■生命科学研究部・医学系(旧医学薬学研究部)

竹屋 元裕 2008年4月1日~現在

#### ■生命科学研究部・薬学系(旧医学薬学研究部)

有馬 英俊 2008年4月1日~現在

#### ■運営基盤管理部・総務担当部長(旧総務部長)

本田 政則 2008年4月1日~2008年7月21日

山本 晃 2008年7月22日~2008年9月15日 ※総務部長事務取扱

小原 康伸 2008年9月16日~2011年3月31日

鈴木 武 2011年4月1日~2012年3月31日

山下 登 2012年4月1日~現在

#### ■教養教育機構(旧教養教育実施機構)

岡部 勉 2009年1月26日~現在

### 熊本大学60年史 部局史編 系代表者

□生命科学系

有馬 英俊 生命科学研究部·薬学系

□自然科学系

伊藤 重剛 自然科学研究科・工学系

□人文・社会科学系

深町 公信 法学部

□学内共同教育研究施設系

緒方 智成 イノベーション推進機構

岡部 勉 教養教育機構

小畑 弘己 埋蔵文化財調査センター 喜多 敏博 eラーニング推進機構

森 正人 附属図書館

### 能本大学60年史編纂室

□顧 問

小野 友道 2008年4月1日~現在 平山 忠一 2008年4月1日~現在

□60年史編纂室長

安田 宗生 2008年4月1日~現在

□60年史編纂副室長

三澤 純 2008年4月1日~現在

□学術研究員

上野平真希 2008年4月1日~現在

□事務職員

松藤 典生 2008年4月1日~2012年3月31日 浦田 博臣 2010年4月1日~2012年3月31日

木庭 惠一 2012年4月1日~現在

『熊本大学60年史 部局史編』が公刊の運びとなりました。熊本大学は1949年5月に6つの官立学校(第五高等学校、熊本師範学校、熊本青年師範学校、熊本医科大学、熊本薬学専門学校、熊本工業専門学校)を統合して新制国立大学として開学し、2009年に開学60周年を迎えました。熊本大学60年史刊行事業はこの60周年記念事業の柱のひとつであり、2008年4月に熊本大学60年史編纂委員会及び60年史編纂室が設置され、60年史全3巻(写真集・部局史編・通史編)の編纂が開始されました。昨年10月に第1巻『写真集』が刊行され、このたび第2巻『部局史』が上梓されました。

本学は60年間の歩みの中で、生命科学系・自然科学系・人文社会科学系からなる3つの大学院と文学部・教育学部・法学部・理学部・医学部・薬学部・工学部からなる7学部を中核とする総合大学、西日本有数の研究拠点大学(教職員数約2,000人、学部生数約8,000人、大学院生約2,000人)へと発展を遂げてきました。

『熊本大学60年史 部局史編』は、第1編生命科学系、第2編自然科学系、第3編人文社会科学・教育系、第4編学内共同教育研究施設系で構成されています。この編成は本学3系の大学院を反映させたものであり、第4編は13の学内共同教育研究施設及び事務組織です。『部局史』の中に、各部局の発展の歴史とそれを支えた多くの先輩諸士の航跡を辿ることができます。また、本誌は国立大学の法人化が国立大学へいかなる変化・変革をもたらしたかについても言及した、これまでに比例をみない大学史という特徴も有しています。

『熊本大学60年史』は、本学の60年間の軌跡を記録し、つぎの60年への創造的発展を期する道標であり、未来を照射する灯台です。完結が俟たれます。

最後になりましたが、本誌の責任編集にあたられた60年史編纂室の安田宗生室長(60年 史編纂室特任教授)はじめ編纂委員の皆さまのご苦労は一入であったろうと忖度します。 本誌の編集にお力添えをいただいた皆さまお一人おひとりに感謝の意を表します。

熊本大学60年史編纂委員長

山中 至

## 熊本大学60年史 部局史編

発行日 2012年10月31日

発 行 国立大学法人 熊本大学

**〒**860 − 8555

熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

編 集 熊本大学60年史編纂委員会

印刷 株式会社 ぎょうせい